

総合調整会議（2017. 4. 19）

○日時：平成29年4月19日（水） 午前8時47分～午前9時55分

○場所：栗東市役所3階談話室

○出席者：市長、副市長、教育長、部長等

<会議内容>

1. 市長の指示事項

市長からの指示

- ・各部において今年度の目標の進捗管理ができるような状況を作ること。
- ・地方創生関連事業は、できる限り国の支援を活用し、また、後で返還することがないように留意すること。人・物・金が上手くつながるよう、格段のご配慮をお願いします。
- ・保育現場から保育士不足の声を聞く。募集を行うなど、保育士確保のための手立てを総務部と協議・調整したい。
- ・新規採用職員、4月に異動した職員に対する目配り、気配り、声かけを行うこと。

2. 審議事項

【案件名】 栗東市水道事業アセットマネジメントの策定について 栗東市水道事業ビジョンの策定について

① 栗東市水道事業アセットマネジメントの策定について

→ 上下水道事業所長、上下水道課長から説明

- ・持続可能な水道事業を実現するため、水道施設及び設備の把握、更新需要の算定、財政計画の見通しを明らかにし、中長期的な視線に立って効率的かつ効果的に水道施設の管理運営の体系化を行う目的で栗東市水道事業アセットマネジメントを策定する。
- ・平成28年度に策定業務を発注し、平成29年3月24日の栗東市上下水道審議会にて説明済みである。今後は、6月定例会の中で、環境建設常任委員会のその他案件にて報告後、議会説明会にて説明する予定である。

② 栗東市水道事業ビジョンの策定について

→ 上下水道事業所長、上下水道課長から説明

- ・厚生労働省では、人口減少社会の到来や東日本大震災の経験等を踏まえ、これまで国民の生活や経済活動を支えてきた水道の恩恵を今後も継続的に享受し続けるよう、50年後、100年後の将来を見据えた水道の理想像を明示するとともに、安全・強靱・持続の観点から、水道事

業者が目指すべき取り組みの方向性や実現方策を提示された。今回、新水道ビジョンを踏まえ、現行の栗東市地域水道ビジョンについて、現状と乖離がある箇所、また、新水道ビジョンで見直しが必要となる箇所を見直すものである。

- ・平成28年度に策定業務を発注し、平成29年3月24日の栗東市上下水道審議会にて説明済みである。今後は、6月定例会の中で、環境建設常任委員会のその他案件にて報告後、議会説明会にて説明する予定である。

区分：決定

3. 報告事項

【案件名】平成29年度総合計画等の進行管理について

→ 市民政策部政策監、元気創造政策課長から説明

- ・第五次栗東市総合計画後期基本計画および第七次栗東市行政改革大綱の進行管理については、双方を一体的に管理していく手法で進捗管理しており、各部課に平成29年度品質目標マネジメントシート、目標進捗状況シートの作成を依頼するものである。
- ・昨年度まで作成いただいていた「詳細事業評価シート」については、部署によって項目数が多く、作成事務が煩雑になっている傾向があることから、一部見直しを行い、改めて提出を依頼する。

[教育部長]

- ・資料「総合計画・行革大綱の進行管理の進め方」裏面の将来都市像について、正確には「ひと・まち・環境」という文言が入るのではないか。

[元気創造政策課長]

- ・修正する。

[教育部長]

- ・品質目標マネジメントシートについて、部局の基本方針「部別経営会議」がずっと空欄となっているが。

[元気創造政策課長]

- ・今年度、部別経営会議で意見された内容を踏まえ、この部分を埋めたい。

区分：了解

【案件名】協働型 Facebook「うますぎる栗東」の開始について

→ 市民政策部政策監から説明

- ・従来より行政主導で本市の公式 Facebook を運営していたが、本市の更なる魅力発信のため、市民と行政の協働型 Facebook「うますぎる栗東」として一新し、協働で情報発信を行うものである。また、緊急時における情報の伝達手段として発信することもある。
- ・4月24日（月）の定例記者会見でマスコミに情報提供する。

区分：了解

4. 閉会

副市長からの挨拶

- ・納税通知や納付書発送の時期が近づいている。税制改正や電算関係の変更等を十分にチェックし、誤りのないよう対応を図ること。

以上